

そうそう

2019年1月

No.

43

拉致問題に 関心を!!

特集 北朝鮮による拉致問題について

- ある日突然、人生を奪い去った北朝鮮の拉致。もしそれが自分だったら、家族だったら…。 ……2～3
- 〈インタビュー〉「あれから45年、被害者家族も高齢化。今こそすべての方々の即時帰還を。」 ……4～5
特定失踪者家族会 会長 大澤 昭一さん
- 大阪府にかかる特定失踪者公開リスト ……6
- 特定失踪者のご家族からのメッセージ・大阪府の取り組み ……7
- 〈トピックス〉「北朝鮮人権侵害問題啓発週間(12月10日～16日)」の取り組み ……8

北朝鮮による拉致問題について

1970年代から80年代にかけて、北朝鮮による日本人拉致が多発し、17名が政府によって拉致被害者として認定されています。2002年9月に北朝鮮は日本人拉致を認め謝罪し、再発の防止を約束しました。同年10月には5人の被害者が帰国しましたが、他の被害者については未だに解決しておらず、最初の拉致被害発生から既に40年以上が経過しており、すべての拉致被害者の一刻も早い帰国が望まれています。



ある日突然、 人生を奪い去った北朝鮮の拉致。 もしそれが自分だったら、 家族だったら…。

北朝鮮による拉致問題とは…

1970年代から80年代にかけて、北朝鮮の工作人員などが多くの日本人を北朝鮮に拉致しました。なぜ日本人を拉致したのか真相は分かっていませんが、日本人を装ってスパイを送り込むため、北朝鮮のスパイに日本の習慣や日本語などを教える教育係として利用するために、日本人を拉致したのではないかとされています。

政府認定の拉致被害者は17名ですが、その方たちの他にも拉致の可能性を排除できない人がおられます。

北朝鮮側が拉致を認め謝罪した後、5人の拉致被害者とその家族が帰国することができましたが、その他の人の安否については納得のいく説明がありません。

政府認定の拉致被害者17名の中には、失踪当時大阪市内の飲食店で働いていた原 救晃^{はら たけあき}さんも含まれており、大阪に暮らす私たちにとっても切実な問題です。

北朝鮮側の説明の問題点とは…

北朝鮮側は、生存者5名を帰国させ、安否不明の12名のうち8名は死亡、4名は北朝鮮に入っていないと主張しています。しかし、死亡したと説明している被害者の死亡の事実を裏付ける客観的な証拠が、まったく提示されていません。

また、北朝鮮に入っていないとされる被害者は、捜査の結果、いずれも北朝鮮の関与が明らかであり、北朝鮮が消

息をまったく知らないという説明も信じられません。

このようなことから日本政府は、北朝鮮側の拉致被害者の安否に関する主張や説明を受け入れることはできません。

日本政府の取り組み

政府としては、北朝鮮側から納得のいく説明や証拠の提示がない以上、安否不明の拉致被害者が全員生存していることを前提に、全ての被害者の安全確保と即時帰国、真相究明と拉致実行犯の引渡しを強く要求しています。そして全ての拉致被害者の一刻も早い帰国を実現するために、政府の総力を挙げて最大限の努力を尽くすとしています。

また、拉致問題をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社

取り戻すための「ブルーリボン」

ブルーリボンは、拉致被害者の救出を求める運動の中で発案されたものです。ブルーの色は、日本と北朝鮮をへだてる「日本海の青」、そして、被害者と家族を結ぶ「青い空」をイメージしています。

「誰もが北朝鮮による拉致被害者の生存と救出を信じる意思表示」として、ブルーリボンをつけようという運動がなされています。



毎年12月10日～16日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です!

政府認定の拉致被害者17名

昭和58(1983)年7月頃
欧州における日本人女性拉致容疑事案
●有本恵子さん(当時23歳)

昭和55(1980)年5月頃
欧州における日本人男性拉致容疑事案
●石岡亨さん(当時22歳)
●松木薫さん(当時26歳)

昭和52(1977)年9月19日
宇出津事件
●久米裕さん(当時52歳)

昭和52(1977)年10月21日
女性拉致容疑事案
●松本京子さん(当時29歳)

昭和53(1978)年6月頃
李恩恵(リ・ウネ)拉致容疑事案
●田口八重子さん(当時22歳)

昭和53(1978)年8月12日
アベック拉致容疑事案
●市川修一さん(当時23歳)
●増元るみ子さん(当時24歳)

昭和55(1980)年6月
辛光洙(シン・グァンス)事件
●原敎晁さん(当時43歳)

昭和53(1978)年8月12日
母娘拉致容疑事案
●曾我ひとみさん※(当時19歳)
●曾我ミヨシさん(当時46歳)

昭和52(1977)年11月15日
少女拉致容疑事案
●横田めぐみさん(当時13歳)

昭和53(1978)年7月31日
アベック拉致容疑事案
●蓮池薫さん※(当時20歳)
●蓮池(旧姓奥土)祐木子さん※(当時22歳)

昭和53(1978)年7月7日
アベック拉致容疑事案
●地村保志さん※(当時23歳)
●地村(旧姓瀨本)富貴恵さん※(当時23歳)

昭和53(1978)年6月頃
元飲食店店員拉致容疑事案
●田中実さん(当時28歳)

※平成14(2002)年10月帰国

会と連携しつつ拉致問題等の実態を解明し、その抑止を図ることを目的として、2006年6月に「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が公布・施行され、拉致問題等の解決に向けた国の責務のほか、拉致問題等の啓発を図る国および地方公共団体の責務、北朝鮮人権侵害問題啓発週間(12月10～16日)の創設および同週間での国・地方公共団体の啓発事業の実施等が定められました。

国際社会においても、国連総会本会議で、外国人拉致問題への深刻な懸念と早急な解決等を求める「北朝鮮人権状況決議」が2005年以降毎年採択されています。

なお、拉致問題は北朝鮮という国家による犯罪であり、在日韓国・朝鮮人や北朝鮮の一般の国民には何の責任もありません。拉致問題について考える際には外国人の人権への配慮が必要です。

アニメ「めぐみ」

北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」は、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅中に拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様様を描いたドキュメンタリー・アニメです。



無料でダウンロードできます。▶



みなさん「拉致問題に関心を持ちましょう!」それが拉致問題解決のために、とても大切です。

あれから45年、 被害者家族も高齢化。 今こそすべての方々の即時帰還を。

特定失踪者家族会 会長 大澤 昭一さん



拉致を疑われる人たち、約900人 東京・大阪・北海道が中心

北朝鮮による拉致被害者等(以下、拉致被害者という)には、日本政府が認定する「拉致被害者」(17名)のほか、拉致の可能性が排除できない「特定失踪者」と呼ばれる人たちがいます。

現在、認定拉致被害者を含め、全国の警察本部と民間の「特定失踪者問題調査会(荒木和博代表)」は、拉致の可能性を排除できない失踪者の数を約900人(545人を公開)と発表しています。また、拉致被害者は、日本海側の都道府県出身者が多いイメージがありますが、特定失踪者を含めると全国に存在し、しかも、東京、北海道、大阪が中心です。失踪した時期は、昭和52(1977)年をピークとして約60年間にも及んでいます。この数字だけをみても、拉致は、偶然通りすがりに起こったことではなく、綿密な

計画のもと行われた、大規模な犯罪という見方のほうが妥当のように思われます。

多くの特定失踪者の存在がわかったのは、平成14(2002)年9月17日、小泉首相の時に行われた史上初の日朝首脳会談がきっかけとなりました。会談では、当時の金正日総書記が横田めぐみさんら日本人の拉致を初めて認め謝罪し、同年10月に地村保志さんら被害者5人が帰国しました。帰国者の一人、曾我ひとみさんは、これまで拉致被害者として名前が挙がらず、家族や警察さえも、単なる行方不明だと認識されていた方で、私たちは衝撃を受けました。それがわかった直後から「うちの家族も拉致されたのではないか」という申し出が警察や認定拉致被害者の「救う会」※に殺到したのです。

拉致は国際法上の「人道に対する罪」 と国際刑事裁判所に訴える

平成15(2003)年、特定失踪者の北朝鮮による拉致の可能性を調査するために、特定失踪者問題調査会(以下、調査会という)が設立されました。調査会に参加していた「特定失踪者」有志家族で、平成29年5月12日に、特定失踪者家族会(以下、家族会という)を結成しました。家族会は、調査会の支援を受けながら、認定拉致被害者に比べ認知度が低い「特定失踪者」の存在を内外に広めることで、北朝鮮への圧力をより強め、すべての拉致被害者の救出をめざして活動しています。

家族会では、新潟、埼玉をはじめ、全国各地の街頭やイベント・集会などで、拉致被害者を早急に救出することを求める署名運動を行うほか、国際的な活動を行っています。

平成30年1月には、国際的な人道犯罪などを裁くオランダの「国際刑事裁判所」(ICC)に、特定失踪者の545人分のリストを提出し、拉致被害者を帰国させないことは国際

法上の「人道に対する罪」として、金正恩朝鮮労働党委員長へ責任追及を求めた申立書を日本人で初めて提出しました。しかし、申し出は却下されました。2007年より前に日本で起きた事件はICCの管轄外というのが理由です。加害者が隠蔽し続ける限り、継続中の犯罪行為であるという見解が認められなかったのは残念ですが、国際的な機関に知ってもらえたことはひとつの収穫でした。

帰国後すぐに、北朝鮮と関係する128カ国の外国大使館と全都道府県へ請願文と失踪者リストを発送しました。まずは、特定失踪者の存在を広く知ってもらうことが大切だと考えています。

弟が帰ったら、 兄弟3人で囲炉を囲みたい

弟・孝司が突然姿を消したのは、昭和49(1974)年2月24日。横田めぐみさんが拉致される3年前でした。孝司は、東京農業大を出て新潟県庁に就職し、ダム建設に伴う農業用地の整備で佐渡島の農業事務所に赴任していました。拉致されたのは、焼き肉屋で夕食をとり、猟銃免許を返却するため猟友会事務所に立ち寄って、奥さんからのお酒の誘いを断り、300mほど離れた独身寮に帰る途中です。奥さんの話では、孝司が出てすぐに急停車する車の音が聞こえたそうです。それ以降、孝司の姿を見かけた人はいません。

2日後に孝司の職場から実家に連絡があり、私は台風並みの大しけの海の中、佐渡島に渡りました。孝司が暮らしていた独身寮の部屋は、荒らされた形跡もありません。仕事もうまくいっていたと聞き、なぜ、家を出たのかわからず困惑しました。翌日、警察や周囲の住民、総勢200人が捜索活動に入りましたが見つかりませんでした。

明治生まれの母は正直者で、「無断欠勤するような子に育てた覚えはない、こんなことはない、これは何かある、早く佐渡に行って」とせかされ、佐渡に向かいました。母は、孝司の帰りをずっと待っていましたが、無念にも30年前に亡くなりました。

実家は築100年の古民家です。孝司が戻ってきたときのために、囲炉を囲んで食事をした部屋は昔のままに残っています。あれから45年がたち、三男の孝司は72歳、次



男は76歳、長男の私は82歳になりました。孝司が戻ってきたら、子どもの頃のように、三人で囲炉を囲みたいと思います。

国際社会と協力して 拉致被害者の即時帰還を

日朝首脳が初めて会談し、拉致被害者5人が帰国を果たしてから今年で17年。被害者、その家族も高齢化。特定失踪者は、政府認定の拉致被害者と異なり、政府の法的な保護や支援がないなか、活動を続けています。被害者を救出するチャンスは何度かありましたが、進展しないまま、時間だけが過ぎていく気がしています。

最も残念だったのは、平成26(2014)年の日朝政府間協議で確認された「ストックホルム合意」でした。この合意によって、北朝鮮に、認定拉致被害者と特定失踪者を区別せず、すべての拉致被害者の再調査を行う特別調査委員会が設置されたのです。しかし、北朝鮮の核実験やミサイル発射に対する日本政府の制裁に反発し、2年後には解体してしまっただけです。

平成26(2014)年3月、北朝鮮における人権に関する国連調査委員会の最終報告書では、少なくとも100人の日本人が北朝鮮に拉致された可能性があるとしていました。

また、平成30(2018)年12月の国連総会では、北朝鮮の人権問題をめぐり、日本人などの拉致を非難し、被害者たちの即時帰還を求める決議の必要性が、圧倒的な支持で採択されました。2019年は、日朝会談も模索されています。最後のチャンスかもしれません。今こそ、国際社会と協力して北朝鮮に圧力をかけ、すべての拉致被害者の救出に力を尽くして欲しいと願っています。


※救う会 ▶ 「北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会」の通称。日本の市民団体のひとつ。北朝鮮による日本人の拉致被害者を救出する目的で、拉致被害者の親族や友人により結成された。

大阪府にかかる特定失踪者公開リスト


北朝鮮による拉致の可能性を調査している『特定失踪者問題調査会(以下、調査会)』に情報を寄せられた方々で、「失踪当時、大阪府内に居住していた方」、「大阪府内で失踪したと思われる方」のリストです。(※政府認定拉致被害者は含まない)

〔注釈〕


- ()内は当時の年齢 ● 日付は失踪年月日
- **【拉致濃厚】**とは、調査会が調査の結果、拉致をされた可能性が高いと判断したものです(3名)。
- 警察庁では、以下の方々の一部を含む大阪府関連の57名について『拉致の可能性を排除できない事案に係る方々』として公表し、HP等で情報提供を呼びかけています。




高木 茂久さん(21)
たかぎ しげひさ
昭和36(1961)年8月10日
居住地/寝屋川市
最終失踪関連地点/福井県?




永田 進さん(21)
ながた すずむ
昭和39(1964)年8月25日
居住地/大阪市
最終失踪関連地点/大阪市




異 敏一さん(16)
たつみ としかず
昭和35(1960)年7月3日
居住地/大阪市
最終失踪関連地点/大阪市




山口 美好さん(26)
やまぐち みよし
昭和40(1965)年3月3日
居住地/守口市
最終失踪関連地点/大阪府




小丸 勝義さん(22)
こまる かつよし
昭和40(1965)年4月10日
居住地/堺市
最終失踪関連地点/東京都/京都府




山本 正樹さん(29)
やまもと まさき
昭和41(1966)年7月11日
居住地/枚岡市(現東大阪市)
最終失踪関連地点/枚岡市(現東大阪市)




坂本 英明さん(32)
さかもと ひであき
昭和42(1967)年11月20日
居住地/大阪市
最終失踪関連地点/大阪市?




佐藤 益一さん(25)
さとう ますいち
昭和45(1970)年6月15日
居住地/池田市
最終失踪関連地点/池田市




木村 秋男さん(23か24)
きむら あきお
昭和47(1972)年
居住地/堺市
最終失踪関連地点/堺市




川満 敏弘さん(33)
かわみつ としひろ
昭和47(1972)年5月
居住地/愛知県
最終失踪関連地点/寝屋川市




山口 浩一さん(18)
やまぐち こういち
昭和48(1973)年5月
居住地/大阪府
最終失踪関連地点/青森県




竹内 久美子さん(13)
たけうち くみこ
昭和50(1975)年3月23日
居住地/大阪市
最終失踪関連地点/大阪市




吉田 賢光さん(36)
よしだ けんこう
昭和52(1977)年3月12日
居住地/宮城県(大阪府に転居予定)
最終失踪関連地点/宮城県




阿比留 健次さん(34)
あびる けんじ
昭和55(1980)年1月
居住地/大阪市
最終失踪関連地点/大阪市




藤山 恭郎さん(22)
ふじやま やすろ
昭和57(1982)年12月14日
居住地/大阪市
最終失踪関連地点/大阪市




山内 和弘さん(18)
やまうち かずひろ
昭和58(1983)年12月28日
居住地/堺市
最終失踪関連地点/堺市




亀谷 博昭さん(23)
かめたに ひろあき
昭和61(1986)年1月11日
居住地/寝屋川市
最終失踪関連地点/大阪府




沈 静玉さん(23)
ちん せいぎよく
昭和62(1987)年2月
居住地/堺市
最終失踪関連地点/大阪府?




尾上 民公乃さん(20)
おのうえ みこの **【拉致濃厚】**
昭和62(1987)年6月6日
居住地/八尾市
最終失踪関連地点/大阪府




種子 雅也さん(27)
たねこ まさや
昭和63(1988)年3月6日
居住地/大阪市
最終失踪関連地点/大阪市




崎山 実さん(24)
さきやま みのる
昭和63(1988)年11月24日
居住地/大阪市
最終失踪関連地点/大阪市?




森本 規容子さん(18)
もりもと きよこ **【拉致濃厚】**
平成3(1991)年9月22日
居住地/兵庫県
最終失踪関連地点/大阪市?




福山 ちあきさん(18)
ふくやま ちあき **【拉致濃厚】**
平成3(1991)年11月3日
居住地/大阪市
最終失踪関連地点/大阪市




植村 留美さん(23)
うえむら るみ
平成7(1995)年3月26日
居住地/美原町(現堺市)
最終失踪関連地点/美原町(現堺市)




金田 祐司さん(36)
かなた ゆうじ
平成8(1996)年8月22日
居住地/堺市
最終失踪関連地点/大阪府内?



賀上 大助さん(23)
かがみ だいすけ
平成13(2001)年12月22日
居住地/大阪市
最終失踪関連地点/大阪市



沖田 徳喜さん(42)
おきた なるき
平成15(2003)年2月1日
居住地/広島県
最終失踪関連地点/大阪市



高見 到さん(43)
たかみ いたる
平成15(2003)年10月5日
居住地/兵庫県
最終失踪関連地点/尼崎市~大阪府

特定失踪者のご家族からのメッセージ

名前を呼ぶだけで23年たった今も涙がでてきます。23歳で消息不明になり、一緒に暮らした分を過ぎてしまいました。

母さんが良く見る夢は23歳の顔のままの留美ちゃん。目が覚めて夢をたどっていても途中で道がなくなり向かえに行きたくてもいけません。父さんも良く夢を見て寝られず朝迄本を読んだりして気を紛らわしています。

平成7年3月26日この日を思い出すと悔しさをいっぱいになります。

もっと捜せなかったか近所の人達、親戚、会社の人、力を借りてまだ雪が散らつく中捜し回りました。一週間が過ぎ一年として23年何も手がかりもないまま留美ちゃんを見つけてあげられなくてごめんなさい。

父さん、母さんは留美ちゃんに会える事を信じて頑張っ

て帰りを待ちます。

▲植村留美さんの母 植村光子さん

“おとうさん”、あの娘の声が…。

助けてやれない、手を差しのべて抱いてやれない…。うすい毛布の中で寒さをこらえて泣いているのじゃ、腹すかしてないか、病気になって苦しんでいるのじゃないか…。

いつまでこんな心配に耐え続けるのか、娘の辛さに比れば、耐えなければもう23年。いつになるのか抱き会えるのは。早く帰っておいで。

平成7年3月26日桜の花の頃、普段着に運動靴、夜になっても帰って来ない、財布もおいたまま、事故か拉致か、警察は家出あつかい、成人だから、自分で探すしかない。1年、2年、彼岸の四天王寺行先死亡、病院、官報、いない。北朝鮮・特定失踪調査会に心を支えられ、全国に同じ苦しみの人がいた。今の日本でこんな事が、何百人も…。

▲植村留美さんの父 植村照光さん

2001年12月22日、淀川にあります社員寮より行方不明になり17年が経過しました。今でも「いったい何があったのだろう?」という所から進めなっています。

大学卒業後社会人となり、いっぱいの夢を描いていたであろう息子の悔しさを思うと、胸が締め付けられる思いがします。

今回、菅官房長官が拉致担当大臣になられ、政府の本気度を感じ期待をしています。家族の思いを胸に交渉がなされ一日も早い再会が出来ます様、願っています。

▲賀上大助さんの母 賀上文代さん

1日も早く全員が、日本の国に帰って来れる事を、毎日祈って居ります。

日本の国の全ての方が、又北朝鮮の国民全てが、人間の本文にたちかえって、もういちど、人の心をとりもどしてもらいたい、と思います。そして、いちにちも早く、国交の樹立をして、共に人の行来が出来る事を希望します。

▲尾上民公乃さんの父 尾上支征さん

大阪府の取り組み

拉致問題解決のためには、政府の外交をはじめとする様々な取り組みはもとより、私たち一人ひとりが関心と認識を深め「決して許さない」「必ず取り戻す」との世論を高めていくことが必要です。

このため、2017年2月には、拉致被害者の方々に向け、松井知事と吉村大阪市長が、北朝鮮向けラジオ放送「しおかぜ」に励ましのメッセージを発信しました。

また「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」には、啓発キャンペーンや映画「めぐみ」上映会などを開催しています。さらに、政府拉致対策本部等と連携し、啓発舞台劇の上演や拉致被害者家族をお迎えした集会も開催しています。

拉致被害者の皆様の一日も早い帰国を目指して、引き続き政府を強力に後押しする取り組みを進めます。

※本誌P3(政府認定の拉致被害者17名)とP6(大阪府にかかる特定失踪者公開リスト)については、情報源が異なるので情報量に差があります。



トピックス

■「北朝鮮人権侵害問題啓発週間(12月10日～16日)」の取り組み

拉致問題はわが国の喫緊の国民的課題であり、この解決をはじめとする北朝鮮当局による人権侵害問題への対処が国際社会を挙げて取り組むべき課題とされる中、この問題についての関心と認識を深めていくことが大切です。大阪府では昨年、この週間に様々な団体等の御協力をいただき、以下のとおり啓発活動を実施しました。

(1)街頭啓発

- 日 時▶平成30年12月10日(JR大阪駅アトリウム広場)
- 内 容▶拉致問題啓発にかかる映像の放映、もずやん等キャラクターたちによるPR、チラシ配布

(2)啓発キャンペーン

- 日 時▶平成30年12月10日(JR大阪駅5階「時空の広場」)
- 内 容▶取組みのPR、山口采希さん(シンガーソングライター)によるコンサート、チラシ配布等



(3)拉致問題啓発パネル展

- 日 時▶平成30年12月11日～16日(府立中央図書館展示スペース)

(4)映画「めぐみ 引き裂かれた家族の30年」上映会

- 日 時▶平成30年12月16日(ピースおおさか)
- 内 容▶政府の取組報告、ドキュメンタリー映画「めぐみ 引き裂かれた家族の30年」上映



(5)ブルーリボンライトアップ

- 日 時▶平成30年12月10日～16日
※一部施設は期間が異なります。
和泉シティプラザ、大阪水上バス、大阪府咲洲庁舎、ドーンセンター、とんぼりクルーズ船、中之島図書館、ピースおおさか、湊町リバープレイス、大阪市役所、万博記念公園・太陽の塔、キタハマミズム(北浜テラス)
- 内 容▶ブルーリボンにちなんだブルーライトアップを開催



大阪水上バス



大阪府咲洲庁舎



万博記念公園・太陽の塔

平成31(2019)年1月発行

発行／大阪府府民文化部人権局

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎38階
TEL:06-6210-9281 FAX:06-6210-9286
<http://www.pref.osaka.lg.jp/jinken/>

編集／株式会社アド・エモン

〒530-0045 大阪市北区天神西町8-19 法研ビル5階
TEL:06-6362-1511 FAX:06-6362-1510
<http://www.ad-emon.com>

「そうぞう」
とは

人権尊重社会を実現するためには、さまざまな偏見や差別を受けている人の状況・気持ちを「想像」することと、豊かな人権文化を「創造」することが必要です。この情報誌がこれらの「そうぞう」につながるように—そんな思いが込められています。